

みらい通信

第62号

発行元 NPO法人紫波みらい研究所
連絡先 〒028-3318
岩手県紫波郡紫波町紫波中央駅前1-2-2
電話 019-671-2244
FAX 019-671-2243
Email miraiken@shiwa-mirai.com
発行日 平成25年11月29日(金)

東北銀行「紫波企業の森づくり活動」in 城山 開催

11月9日(土)、城山公園において、東北銀行による紫波企業の森づくり活動を開催しました。協定5年目の最後の年の活動です。参加人数は、76人。

当初、予定していた城山の整備場所は、8月11日の大雨被害のため、整備場所としては危険という判断で以前、銀行が山わさびを植えた場所で行いました。

どちらかという、これまでの整備場所よりも平らに近いところなので、行員の皆さんは、搬出も少しは楽にできたと思います。

また、行員のお子さんたちは、紫波町産の木材や木の実を使って、置物を作りました。材料を置いただけなのに、子どもたちはすぐ、イメージが湧くらしく、作品作りに夢中です。大人はこうはいかないですね。今年もすてきな作品ができました。PRセンターに飾りたいくらいです。

来年は、町内の他の場所に移動しての活動となります。年内中には、下見を実施し、場所を決める予定です。東北銀行の皆さん、来年も紫波町の森の整備に汗を流してください。お待ちしております！



木質ペレットを知っていますか？

丸太、樹皮など木質バイオマスを原料に作られます。特に、木材工場から排出される樹皮、おが粉、端材などの残・廃材が有効活用されています。これらの原料を細かい顆粒状まで砕き、それを圧縮して棒状に固めて成形したものがペレットです。大きさは、長さ1~2センチ、直径6~12ミリのものが主流です。ペレットの特徴のひとつが接着剤の必要がないことです。木材の構成要素のひとつである物質(リグニン)が軟化して、接着剤のような役割を果たします。そのため、ペレットの成分は木材と変わりません。それで、薪を燃やしている時のような暖かさはあるのですが、ペレットに成形するときに原料を凝縮させる分、粉碎しただけのチップやおが粉よりも熱量が大きいです。

ペレットの特徴

大きさが均一でそろっている。

一定の硬さがあり、かたくずれにくい。

取扱いに手間がかからない。

燃料効率がいい。

ペレットに含まれる水分の割合(含水率)が低く、着火が良好。

搬送・保管に便利で、長期間の貯蔵も容易。

往生の端材や木くずから生まれるペレットはゴミを減らし、そのうえ、新しいエネルギーも生み出す循環的エネルギーと言えます。(出典:日本木質ペレット協会)

紫波町では、エコセンターでペレットを製造し、販売しています。ペレットストーブ、ペレットについては、紫波町環境・循環PRセンターまでお問い合わせください。電話 671-2245 佐藤・橋浦



木質ペレット

岩手工場もあるS社のペレットストーブPRセンターで使用





ことのは

毎朝、霜の降りることが当たり前になってきて、根菜類の掘り上げに力を入れていたところ、愛用の丸円匙が折れてしまいました。ゴボウや一尺ニンジン、イモ、ダイコンなど、いつも根菜の収穫といえばこいつを持ち出していました。とうとう、お別れとなりました。ありがとう。初代丸円匙。その役目は二代目以降に引き継がれていくのです。

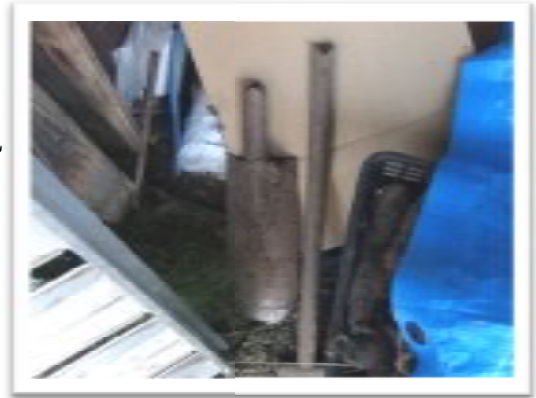
さて、話は変わりますが、「仕事」ということばの意味はさておいて、「仕事をする意義」というものは一体何なのか。その答えに「仕事というのは知らない誰かの役に立つこと」という考えに出会ったときに思ったことを少し。

そういえば、いつも使っている道具を作った人も、毎年播いている野菜の種を育てている人も、そのほとんどを知らない。そして、知らない人の流通網、販路に乗ってここに届いて、それらを使って野良仕事をして、販売する。うちは基本、対面販売なので、買ってくれる人とは顔見知りではあるものの、買って、食べてくれた人が、仕事に励むことで、どんな人の役に立っているのかまでは知らない。けれども、確かな仕事をしている限りは、「誰かの役に立つ連鎖」の中にいるということになるはず。自分一人の仕事量はたかがしれているけれども、どこか誰かの仕事の支えになっているはず。これも一つの人の環なのだろう。

などと、丸円匙一本折っただけでおもっているおおげさな「こかげのうえん」でした。

こかげのうえん 関 大輔

「ことのは」は、12月まで掲載します。お詫びして訂正します。



イベント情報



手づくりほうきのお話と実演

日時: 12月 6日(金) 10時~
場所: 赤石公民館 676-3999
講師: 大沼 慶子さん
参加費: 無料

志和にこここ大学

農家の年中行事や彦部地区のお年寄りから昔話を聞き取りしている長澤さんのお話を聞きます。

日時: 12月18日(水) 13時30分~
場所: 志和公民館 671-7112
講師: 長澤 聖浩さん
参加費: 無料

冬まつりのお知らせ

冬まつりに協賛し、みらい研究所でも夢灯りを飾ります。これまでは、牛乳パックや空き瓶等を使っておりましたが、現在検討中ですので、決まり次第、作る材料や作る日を決めますので、ぜひ、ご協力をお願いします。当日参加もOKです。

日時: 平成26年 1月18日(土)
場所: JR 紫波中央駅ロータリー付近



〔編集後記〕

今年も早いもので、1ヶ月を残すのみとなりました。

「また、寒い季節の到来だ！」と身体が硬くなり、歳とともに寒さが応えます。

家では、灯油を暖房に使っていますが、事務所では木質バイオマス燃料を普及するという目的で、ペレットストーブを使わせてもらっています。燃料のペレットは紫波町産です。ペレットがコロコロと燃焼口に落ちる音を心地良く聞き、オレンジ色の暖かな火を見ながら仕事をしています。灯油と違う点は、すぐに暖かくはならないが、いったん暖かくなると午後には火を消すことが多いくらい蓄熱効果が高いことと暖かさがやわらかいことです。良かったら、紫波町環境・循環PRセンターにペレットストーブを見にきてください。お茶を用意して、お待ちしております！(S)

会 員 各 位

～ 忘年会のご案内 ～

今後の夢を楽しく語り合う場としましょう！

日 時 平成25年12月13日(金)午後6時30分～

場 所 茶やぼん太

会 費 3,500円(飲み放題)

申込締切 平成25年12月 6日(金)

申 込 先 NPO 法人紫波みらい研究所 佐藤・橋浦

電話 671-2244 FAX 671-2243

